

# こんな問答 ありました。

## 事務分掌条例の改正

**問** 今回の組織機構の見直しはどういった方針に基づいているのか。この機構改革による財政効果はどの程度か。

**答** 現状の機構図は合併当初の12課と班編制という、非常に複雑な組織で縦横の連携にも支障があり、組織機能に不具合が生じていた。広範な行政需要に迅速に対応するため、本庁では6課とその下に13グループを置くグループ制も導入した。

財政効果については、将来的に管理職手当の削減や、超過勤務の削減が図れると思う。

**問** グループ制の中で、グループ長の位置づけはどうなるのか。

**答** 現状の職員構成をみると多くの課長職や副課長職もある。したがって当初のグループ長には今の課長職や課長相当職に就いてもらうが、最終的にグループ長は課長補佐待遇職である。

## 長期総合計画審議会条例の制定

**問** 委員の任期は2年となっているが、計画はいつ完成の予定か。

**答** 委員15名という人数の根拠と人選はどのようになるのか。

**答** 来年の3月議会に上程し、20年4月1日から執行したい。

人数については町全体から意見を求めるという観点から、旧3町村から5名ずつ人選する。議員からも3名程度この15名に入っていたら。

**問** 全体的に諮問委員会や審議会が多すぎる。長期計画などは町長がリーダーシップを強力に発揮して庁内でやるべきではないか。

**答** 多くの町民の意見を聞き、また参画していただくという行政のあり方が最近の動向だ。そのような姿勢で今後も行政執行をしていく。

**問** 日高川町公の施設に関する指定管理者の指定について

**問** 芦谷公園を公社に5年間委託とあるが、年間の委託費はいくらか。

**答** 薬剤費、燃料費、防除費、人件費を含んで130万円程度をみています。

## 18年度一般会計補正予算

**問** 合併推進体制整備事業費ということで、今回予算化された「合併記念ふれあい公園整備事業」の詳しい説明を。

**答** 以前より小熊地区から大規模な集会施設の要望があり、この合併推進の補助金を使って公園を兼ねた集会施設建築の用地を造成する事業だ。用地は矢田財産区より提供いただいた1ヘクタールを予定している。

**問** ふるさと振興公社への委託料を2700万円増額補正しているが、当初予算の段階で総額8千万円は必要だという議論も交わされていた。今回の補正で当初予想した通りとなったことから考えても、必要なものは当初予算に計上すべきではないのか。

**答** 各施設の運営一本化の中で新たなスタート

## 19年度一般会計当初予算

**問** 今年も紀の国美山マラソンが実施されたが、19年度は予算計上されていない。18年度で打ち切りか。

**答** 年々参加選手も減少し、今年は800人余りである。一度選手の皆さんにアンケート調査をし、実施となれば6月補

をきった「ふるさと公社」としては、できるだけ町に負担をかけないよう運営努力するという意識のもとで、委託料を5千万円としたが、売り上げ等の実績額が前年と同程度となり、やむなく補正をした。

19年度の当初予算は今年度までの推移を踏まえ、7、8千万円の計上を考えている。



合併記念ふれあい公園予定地（小熊地区）

正で対応したい。

**問** 昨年結成した地域交通会議は1年やって何ら結論も出ていない。何月頃に結論を出すのか。

**答** 結論を出す段階にきていて、4月と5月の2回の会議で一定の方向を出したい。

**問** 民間保育施設運営補助金で、昨年は190万円、本年は168万円と減額になっている理由は。

また町内、町外保育料が同額と聞かぬが。

**答** 昨年は町内のお子さん一カ月あたり8名、今年は7名という積算での予算計上だ。町内のお子さんは月額2万円の助成である。保育料については、町内者は値下げをしていくということである。

**問** 扶助費で敬老年金の予算がなくなっている理由は。

**答** 福祉に対する行政需要が多様化しており、

見直すべき時期にきているということ、今回廃止した。

**問** かわべ保育所には保健師が配置されているが、保健センターの保健師と連携をとっているのか。

**答** 保育所統合から1名配属している。保育所内の障害児や発達障害児の指導、けがや病気への対応をしている。

保健福祉課の保健師とも連絡調整をしている。

**問** 先進自治体では乳幼児医療の対象年齢の引き上げが人口増加の要因となっていると聞いた。本町でも取り組まないのか。

**答** 本町では通院・入院について6歳まで無料となっている。他に町単独で入院時の食事医療費も無料に助成している。

18年10月に対象年齢を3歳から6歳へ引き上げた。さらに引き上げる計画はない。

**問** 旧3町村の保育料が統一されたが、保育内容はまだ統一されていない。

新年度はどうなるのか。

**答** 延長保育については、川辺、中津につき18年度からは美山の保育所も実施している。

乳幼児保育は川辺、中津のみ実施している。みやま保育園は、19年度に遊戯室を増築し20年度から対応したい。

寒川保育園は、計画していないが、旧寒川中学

校を改修し、移転したらスペースもできる。柔軟に対応できないかと考えている。

**問** 下水処理事業については、川辺地域はほぼ完了する状況になっているが、全町的にはまだまだ未整備だ。

今後の整備について方向性を示して欲しい。

**答** 合併協議の経緯を踏まえ、平成18・19年度に合併浄化槽による面的整備を計画し、20年度から取り組むということ、中津・美山両地区

の区長に取り組みへの依頼をすにしている。

現在のところ面的整備計画を取り入れるとした地域はないが、19年度までに計画を上げた地域については取り組んでい

く。

**問** 中津産品

所の公衆トイレの改修が予算化され、大型観光バスによる来客増が大いに期待できると思うが、設置の位置と実施はいつになるのか。

**答** 旧トイレが駐車スペースの中央付近に位置していたことから、今回は川側に設置を考えている。工事は早く7月頃からはなるのではないかと。

**問** イノシシやシカの肉の販売がこれまでのように、産品所や中津荘でできなくなったことで猟友会のメンバーが困っている。またこれでは有害獣の駆除にも支障をきたす。なんとかできないのか。

**答** 食衛生上の問題から保健所の指導でこうなっている。指摘の通り獣害対策の観点から何らかの対応を検討しなければならぬ。

**問** 教育関係の情報系保守点検と庁内の情報系

保守点検は、同一回線で対処していいのか。

**答** 情報系システムを行政と学校とに分けているのは、ウイルス等の防止、個人情報保護から分けている。

**問** 川辺ゲートボール場の改修計画は。

**答** 6面あるが全面改修するとともに、駐車場を60台収容可能にし、女性トイレを増設する。

**問** 小中学校の第2次耐震診断により、耐震改修が必要と思う。改修計画があるのか。

**答** 第2次診断結果を見て、数値の悪いものから順次改修計画に取り組みたい。

**問** 合併特例債を生活道路改良に充当してはどうか。

**答** 生活道路の認定基準が難しい。起債は交付税算入の率の高いものから活用し、財源手当の少ない事業に合併特例債を活用していきたい。



川辺ゲートボール場